



カーボンナノチューブ(CNT)を利用した リチウムイオン電池正極スラリーのレオロジー特性

↳ 混合プロセスに注目!!

リチウムイオン電池の製造過程

活物質 導電助剤 バインダー 溶媒



リチウムイオン電池





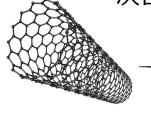
電気自動車

スマートフォン

需要増加

▶カーボンナノチューブ(CNT)

次世代の導電助剤



- ◎導電性が非常に高い
- △スラリー中での 分散性が悪い

分散方法によって変化 -

ネットワーク不完全

ネットワーク形成







導雷性◎

CNTの分散方法が分散状態に及ぼす影響について レオロジーの観点から解明

